

ごみ減量化に向けたワークショップ かわら版（開催結果報告）柳沢自治会

平成29年8月1日（火）18:30～



滝沢市では、ごみの処理に関する環境及び資源の問題、ごみの処理に係る費用の問題など、今後「ごみの減量」が必ずや必要となり、市民一丸となって取り組むべきテーマと考え、各地域の皆さんにご協力を頂きワークショップ（意見交換会）を開催しました。

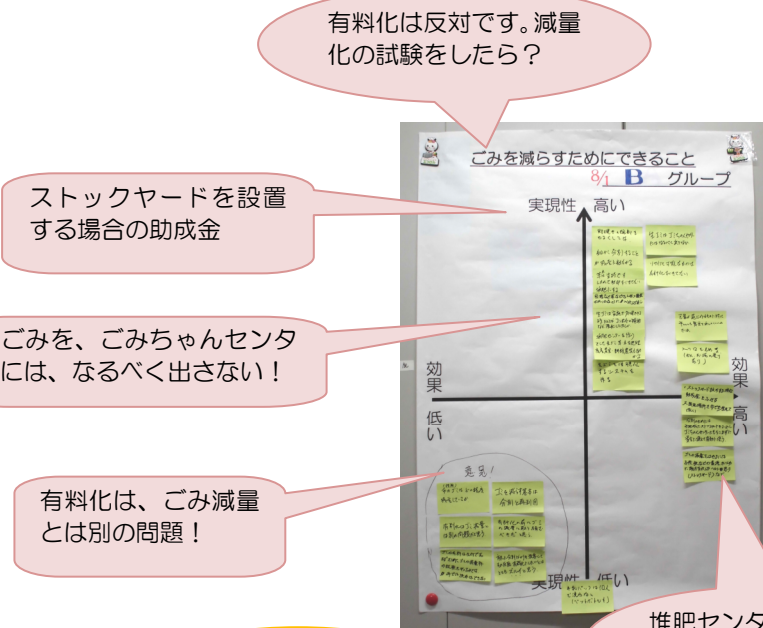
今回のワークショップは、ごみの減量について、色々なアイデアを出していただきながら、皆様で楽しく意見交換していただく場所・機会として、白熱した意見交換が交わされました。

グループ発表の準備中



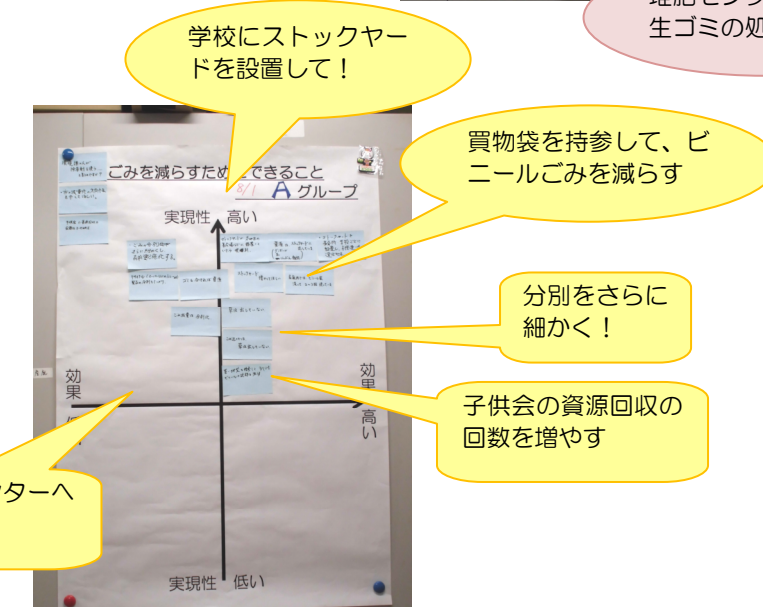
A 班

- スtockヤードが各地区の集会所などに設置していたら便利
- スtockヤードを学校に設置すれば子供たちも運べる
- 家庭内では、ビニール袋を洗って2～3回使っている
- 買物袋を持参して、少しでもビニールの焼却を減らす。
- この辺りでは、草は出していない(清掃センターへ搬入しない)
- 分別をさらに細かくし有用資源化する
- リサイクル、スーパーのトレーなど分別をしっかり
- 子供会の資源回収の回数を増やす
- 意見 環境課の人が除草剤を使う…と言うのですか？
- 要望 市の減量化の方向性を示してほしい



B 班

グループ発表の準備中



- 生ごみは、ごみちゃんセンターには、なるべく出さない
- 野焼きの規則を緩くしては？
- 細かく分別することが減量につながる
- 草木は資源です。焼却せず堆肥にする
- 生ゴミは家庭で処理できるよう、コンポストの補助を強化する
- 堆肥センターを作り、生ごみ、草木を処理すれば農家助かる
- スtockヤードを設置する場合の助成金を増やす
- 意見 有料化は、ごみ減量とは別の問題と思う
- 意見 有料化の前にごみの減量に取り組むべきだと思う
- 意見 ごみの有料化は反対です。まず減量化の試験をしたら？

※上記は、提案された意見を基本的に原文記載としておりますが、同内容意見は、抜粋・組み合わせなどしております。今回は、A・B班の2グループでした。



A 班の発表です



B 班が発表しました



発表に集中して耳を傾けています



講評をいただきました

お忙しい中「ワークショップ」へご参加頂きました皆さま、大変有難うございました。色々な意見、沢山のアイデアが出されました。今後、市民皆さまと、市役所の「協働」の大きなテーマになる「家庭ごみ減量化」にとって、推進への指針となる「ひとつひとつ」と考えております。今後とも、宜しくお願いいたします。

滝沢市役所
市民環境部 環境課